NIE実践報告

1．タイトル：☆朝10分間の取り組み「黙学」の時間

2．学校名

熊本県立熊本商業高等学校

3．実践者名（代表者名）

学力検討委員会

4．学年

第1、2、3学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

全教科・領域　全学年(1109人)

6．単元（本時の学習課題）名

「黙学」の時間

7．目標（狙い）

社会に目を開く一環として、計画的に新聞スクラップを読み、商業高校生として必要な実社会に関する興味・関心を高めて、就職・進学に必要な知識を身につける。

8．評価の視点

配布された新聞スクラップを読み、その記事に対する自分なりの感想や意見を適切に書けるようになる。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

年間およそ170回ある朝の時間のうち、新聞スクラップを読む「黙学の時間」は100回程度(これ以外はテスト勉強等の取り組みとなる)

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

8:20 (1)　「黙学の時間」の係が課題を取りに来る
8:25 (2)　係が課題を配布
8:28 (3)　生徒着席終了。黙学の準備。
8:29 (4)　生徒会による黙学開始の放送
8:30 (5)　黙学開始　※私語・居眠り等を一切せず、集中して取り組む。
8:40 (6)　黙学終了。SHR開始
8:50 (7)　SHR終了。
(留意点)
　静かな環境の中、集中して取り組ませるために、全クラス監督者がつくようにする。
　記事内容については、広がりが出るように、各作成者の判断に任せるようにする。作成者は、学年で割り振る。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

　集中力がつき、文章を書く力や読解力が向上したと感じる生徒が多くいた。短い時間で文章をまとめる力もついたという生徒もいた。また、社会の動きに関心を持つ生徒が増加し、これまでニュースも見なかった生徒が、進んでニュースを見たり、新聞を読んだりするようになった。

12．成果と課題

　成果として、生徒のアンケートからは、上記のような肯定的な意見が多く、「社会に対して目を開かせる」という目的はある程度達成できたように思われる。また、毎回文章を読み、短いながらも感想を書く作業を繰り返したことで、文章をまとめる力などの国語力が身についたと思われる。その他、間接的ではあるが、この時間を設定したことで、遅刻が減り、朝のスタートが静かに行われ、落ち着いた学校生活を送るようになったという副次的な効果もあった。課題として、生徒を飽きさせないよう知的好奇心を高める記事の選び方や、監督につく教職員が、職員朝会へ参加できないなど運営上の課題もいくつか出てきている。